

地域DX推進に向けた宮城・東北 県・市町村連携フォーラム

岩手県説明資料

岩手県

ふるさと振興部科学・情報政策室

主幹兼特命課長 田中健

1 専門人材の任用状況について

- (1) C I O補佐官（R 4～）
全県的なデジタル化・D Xの推進方針の検討、決定に関する助言・支援
- (2) D X推進専門官（R 4～）
庁内D Xの推進、市町村の自治体D Xに対する取組、地域課題解決、デジタル人材育成などへの助言・支援
- (3) D X推進コーディネーター（R 4～）
市町村におけるデジタル化による地域課題解決に向けた助言・支援
- (4) 企業連携アドバイザー（R 4～）
D X推進のための企業との連携に係る助言・支援
- (5) D Xアドバイザー（R 3～）
県内企業、学生などへの助言や講演

2 D X人材育成の取組について

- (1) D Xの意識醸成、最新情報の入手
 - ・DXトップセミナー：幹部職員に対するCIO補佐官による講義
 - ・職員能力開発研修（基本研修）：能力開発研修において業務効率化やD X推進の意識醸成を図る講義
- (2) 基礎知識の習得
 - ・データサイエンスリカレント教育プログラム
- (3) 専門スキルの向上
 - ・データ利活用推進：オープンデータ利活用推進セミナー、データリテラシー向上に向けた研修
 - ・BPR推進（手続きオンライン化、AI・RPA）：各自治体の取組状況やノウハウなど情報共有

3 市町村支援の実施状況について

現在、市町村支援としては、以下の機会を活用し、支援ニーズの聞き取りなどを行っているところ。

- (1) 基幹20業務システムの標準化、ガバメントクラウド移行に係る進捗状況の確認や技術的助言
- (2) ITスキル研修等を岩手県立大学との連携も試みながら開催（データ利活用など）・セミナー情報の提供
- (3) 県及び市町村に配置されている専門人材の横のネットワーク構築による情報交換等の場の提供
- (4) 電子申請・届出サービス、自治体情報セキュリティクラウド等の共同利用
- (5) 町村部への訪問によるDX推進状況の対面でのヒアリング、その他相談対応

4 人材プールの確保について

「市町村支援に必要な人材像」が、現状において不明確であり、対面でのヒアリング等により明確化を図っている段階である。現時点において人材確保に動いていない。

5 町村部におけるリソース状況について

総務省やデジタル庁から、DX推進の方向性や取組の重点項目などを示されているものの、特に小規模町村では、「ひとり情シス」ならぬ「0.5情シス」「0.5DX推進担当」といった、他の業務と掛け持ちしている職員が多く、専任として取り組める状況下でないことから、現状の取組維持だけでも難しい状況下であり、新たな取組となるDX推進に向けた予算獲得もさることながら、自治体として取り組むべき課題の明確化にすら充てられるリソースが圧倒的に不足しているのが実情。

6 求められる大まかな人材像

これまでの一部町村訪問（11月中旬目途に実施中）によるヒアリングなどを通じて、県に求めている大まかな人材像は以下のとおり。

- （1）どこから進めていけばいいのを見出せない自治体 → 「羅針盤となり、かつ、牽引していけるDX推進人材」
- （2）進むべき方向性等は見出しているが推進力が弱い自治体 → 「伴走支援型のDX推進人材」
- （3）課題解決のソリューションの利活用や普及に苦慮している自治体 → 「システム運用フェーズでの活用支援等に長けたDX推進人材」



参考：書かないワンストップ窓口事例共有会in東北（デジタル庁主催）の様子
2024年7月4日（北上市）、5日（一戸町）開催 ※写真は北上市会場